

＜先週の説教から＞

『ルカ ④7—敵を愛し、祝福を祈ること』

武田 真治 牧師

出エジプト 22:24~26 ルカ福音書 6:27~31

旧約聖書とイスラエルの歴史に於いては、レビ記 19 章 18 節にあります「自分を愛するように隣人を愛しなさい」という言葉が、旧約の律法二十戒を貫く教えとして新約でも度々語られてきました。イエス様も“永遠の生命”を得るために「心を尽くし、思いを尽くして主を愛し、隣人を自分のように愛しなさい」と教えておられます。それに対して、ある律法の専門家が『(その場合の) 隣人とはだれですか?』と尋ねて来た時に、話されたのが有名な『良きサマリア人のたとえ』です。当時、サマリア人はユダヤ人から他民族との混血だと侮辱され、虐げられていたのに、強盗に襲われ傷ついたユダヤ人を助けてあげたというお話でした。これこそ“敵をも愛する”ことを教えられたたとえ話です。このように「敵を愛しなさい」という教えは“イエス様特有の教え”と言い得るのです。ただ、それだけに昔から、この教えは現実離れしている、キリストは単なる理想主義者・夢想家に過ぎないと批判されて來たのでした。そうなのでしょうか?

実はイエス様は直前の 22 節で「人々に憎まれるとき、また、人の子のために追い出され、ののしられ、汚名を着せられるとき」があると言われています。人の子ニイエス様を信じることで、その地の共同体から“排除(ニ村ハ分)”される現実がありました。それでも「(憎まれても) 敵を愛し」「(追い出されても) 親切にし」「(ののしられても) 祝福を祈り」「(汚名を着せられても) 祈ってあげる」という一つ一つ実際的対応を教えておられるのです。つまり、迫害されることを前提にしながら、その相手を恨み、復讐を考えるのではなく、その相手を「愛し、祈る」という在り方で返していくようにという教えなのです。決して夢物語ではありません。

大事な点は、相手から為された行為を忘れよ、赦せとは言われていない点です。復讐で返すのではなく、尚、その存在を「愛すること、祈ること」は出来るはずだと言われている

のです。それがまさに十字架上でのイエス様の御姿でした!

このイエス様の言葉と行動が、後のキリスト教にどんな影響を与えて行ったのかと申しますと、AD70 年にローマ帝国によってエルサレムが陥落させられ、イスラエル王国が滅ぼされ、住んでいたユダヤ人達は世界中に散らばる(ニティアスボラ) 状況になったとき、ユダヤ教徒たちは、いつか自分たちの国を再興することに邁進し、より固い結びつきを形造って行ったのですが、ユダヤ人キリスト者たちはそのローマ人たちを恨むことに凝り固まることなく、この「敵を愛せよ」との教えに従い、困難や苦しみを与えられながらも、入って行ったことで信仰が世界中に広まっていました。その“原動力”になった言葉がこのイエス様の言葉なのです!

\*\*\*\*\*

#### 【今週の集会】

\*聖書研究・祈祷会 I. 7月 16 日 (水) 20:00  
II. 7月 17 日 (木) 10:30

聖書研究： ローマの信徒への手紙

祈祷主題： 婦人会の活動を覚えて

担当者： (水) 大竹 (木) 長田

祈りに覚える人： 松下さん 松田さん

ハンナの会： 7月 15 日 (火) 10:30～

#### 【教勢報告】

主日礼拝 男 18 女 49 計 67  
祈祷会 I. 男 3 女 2 計 5 II. 男 1 女 8 計 9  
日曜学校 幼稚科 4 小中科 10 計 14

\*\*\*\*\*

#### 【次週主日礼拝】 7月 20 日 (日)

聖書： 箴言 20:22～24

ルカによる福音書 6:31～36

説教： 「ルカ④8—見返りを求めることなく」

武田 真治 牧師

讃美歌： 6(1)、32、149、566、453、29(1)

#### 【次週当番表】

司式： 岩佐長老 奏楽： 羽倉長老 礼拝： 荻木長老

献金： 鈴木 須田 受付： 飯島 吉岡

会堂準備： 木村 小杉 富澤 長田

橋本 北條

看板： 曾我 週報： 吉岡 お花： 羽倉

#### 【次週集会予定】

礼拝前： ・聖書輪読会 ・求道者会

礼拝後： ・牧師と語る会 ・お茶の会 ・SS 教師会

・オリブの葉編集委員会

66-28

# 週報

2025 年度 教会標語

「主につながり、根を張り、枝をひろげて」

2025年 7月 13日

日本キリスト教団 上尾合同教会

牧師 武田 真治

〒362-0041 上尾市富士見 2-3-33

TEL&FAX 048-771-6549